

## 平成 28 年度 研究成果報告書

### Research Achievement Report FY2016

講座名・職名 Course Title・Job Title	日本語日本文化教育センター・教授
氏名 Name	岸田泰浩
専門分野 Academic Field	言語学

主たる研究テーマ Principal Research Subject	コーカサス地域の言語研究 明証性の通言語的研究、格助詞の類型論的・歴史的研究
<p>言語事象の普遍性を探求する類型論の立場から言語間に観察される類似点や相違点を整理しながら、対象言語の文法構造についての比較研究を多角的に実施した。コーカサスで話されているグルジア語は、アルファベット式ではあるものの独自の文字を持つ言語であり、その点では、地理的に隣接するアルメニア語と共通しており、従来実施してきたアルメニア語の e-ラーニング教材や電子版学習辞典の開発で培ってきたノウハウがグルジア語の e-ラーニング教材等の開発に役立つ可能性が大いにある。今年度は、そのノウハウがどの程度活用できるかを検討したが、当該の二言語は、文法体系がかなり異なるため、どの文法項目をどのような順序で排列するか、また、電子版辞書に含める文法情報としてどのようなものが必要となるかについては、さらなる検討の余地があることが明らかとなった。また、もう一つの研究テーマの「明証性」(evidentiality)については、研究書や論文を収集し、学問的進展状況の把握に努めた。さらに、「格」については、分格と能格の視点を取り入れながら、日本語のガ格の歴史的・概念的な発展に関して行った考察をまとめ、その研究成果として、ユーラシア言語研究コンソーシアム年次総会にて発表した。</p>	